

## 用語解説 (50音順)

### 家読(うちどく)

「家庭読書」の略語で、家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深めることを目的にした読書運動。

### LLブック(エルエルブック)

知的障がいや学習障がいのある人などが読みやすいように、短い文章や絵文字を使うなど工夫してつくられた、「やさしく読みやすい本」。

スウェーデン語表記:LättLäst

### おはなし会

ストーリーテリング(素話)や絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行い、子どもにお話の楽しさを伝える取組。

### 学校図書館図書標準

文部科学省が平成5年3月に定めた公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書冊数の標準のこと。

### サピエ図書館

インターネット上の電子図書館。30万タイトル以上の録音・点字・電子書籍を提供するネットワーク。

### セカンドブック

ブックスタートのフォローアップ事業として、小学校入学時などに本の配付などを行う取組。

### 全国調査

昭和29年より、公益社団法人全国学校図書館協議会が毎年行っている「学校読書調査」のこと。最新の調査結果(令和4年6月調査)によると、前年度と比較し、どの校種でも不読率が向上した。(小学生 5.5%→6.1%、中学生10.1%→18.6%、高校生 49.8%→51.1%)

### 地域文庫

地域の施設等で本の貸出しや読み聞かせなどを行っている、市民による子ども読書推進活動。

## DAISY図書(デイジー図書)

視覚障がいや学習障がいのため、読書が困難な人のためのデジタル録音図書。別名「音声デイジー」。

英語表記: Digital Accessible Information System

## 読書通帳

銀行の通帳と同様の形式で、借りた本の名前、著者、貸出日などを記帳できるもの。

## 読書バリアフリー推進計画

読書バリアフリー法第7条の規定により策定された視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する国の基本計画。正式名称は「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」。

## 読書バリアフリー法

障がいの有無に関わらず、全ての人を読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律。正式名称は「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」。

## 図書館を使った調べる学習コンクール

図書館の利用促進と調べる学習の普及を目的とし、子ども自身が疑問に思うことなどを、公共図書館や学校図書館を使って調べた作品のコンクール。

## パスファインダー

あるテーマについて調べるときに役立つ資料やツールをまとめて紹介するもの。「パスファインダー(pathfinder)」は「道しるべ」という意味。

## ビブリオバトル

発表者がおすすめしたい本を紹介し、参加者が一番読みたくなった「チャンプ本」を決定する、ゲーム感覚の読書推進活動。

## ブックスタート

乳幼児検診などの機会に、絵本の読み聞かせを通じて「絵本」と「赤ちゃん」と絵本を楽しむ体験」をプレゼントする取組。

### ブックトーク

特定のテーマに沿った数冊の本を様々な手法を使って紹介し、聞き手に読書意欲をを起こさせる取組。

### マルチメディアDAISY図書

パソコン等で音声を聞きながらテキストや絵などを同時に見られる機能を備えたデジタル録音図書。

### リレーうちどく

一冊の本を家族や学校などでリレーしながら読み、本の感想をみんなで共有することで家読を推進する取組。



地域文庫



親子おはなし会